

都市再生整備計画 事後評価シート
名瀬中心市街地地区(第2期)

平成30年3月

鹿児島県奄美市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県	市町村名	奄美市		地区名	名瀬中心市街地地区			面積	43 ha				
交付期間	平成24年度～28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	376百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(みなと公園、あさひ公園)、地域生活基盤施設(まちかど広場、案内板、情報板)、高質空間形成施設(カラー舗装等の実施)											
		提案事業	地域創造支援事業(空き店舗対策事業、商店街環境整備事業)、事業活用調査(各種調査業務)、まちづくり活動推進事業(商店街ワークショップ事業、イベント開催等)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(みなと公園) 地域生活基盤施設(まちかど広場、案内板、情報板)	【公園】当公園は530㎡と狭く、園内にトイレがなく、隣接する児童館のトイレを利用しているのが現状であったため、トイレ整備を予定していたが、再検討を行った結果、公園が狭くトイレ設置により空間が更に狭くなることや、児童館のトイレが公園に隣接しており利用者の支障となっていないことから、計画から削除する。 【まちかど広場】用地案件の難航により、現計画から削除する。 【案内板、情報板】計画区域内で整備している、土地区画整理事業の進捗の遅れにより、次期計画(3期計画)へスライド予定のため現計画から削除する。				事業削除により、来街者数の指標達成に関連し、指標の目標値を変更する。						
		提案事業	地域創造支援事業(商店街環境整備事業) まちづくり活動推進事業(商店街ワークショップ事業)	【商店街環境整備事業】区画整理事業で施行する都市計画道路沿いの景観整備について「奄美らしさ」の創出をコンセプトに地元通り会や建物所有者と景観協定の締結を行い、その景観協定に沿った店舗改修への補助を行う予定であったが、建物所有者との調整が整わず協定の締結にいたっていないため、現計画から削除する。 【商店街ワークショップ事業】平成26～28年度に生涯学習センターの整備を計画していたが、整備予定地に立地している測候所の移転計画が、移転先である埋立事業の遅れにより、大幅に遅れる見通しとなったため、整備に関するワークショップ事業を現計画から削除する。				事業削除により、空き店舗率及びまちづくりの活動の参加数の指標達成に関連し、指標の目標値を変更する。						
	新たに追加した事業	基幹事業 提案事業	なし なし	-				-						
	交付期間の変更	当初 変更	平成24年度～28年度 平成 年度～ 年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
	指標1	来街者数	人/日	11,800	H23	14,000	H28	9,087	△	あり なし	○	魅力ある街並みの形成(整備方針3)に向けて、各種事業を実施したが、地区内外の人口減少や、区画整理事業の事業進捗に伴う建物除却による店舗数の減少等の理由から、目標達成に至らなかった。	H30年度	
	指標2	空き店舗率	%	14.3	H22	13.0	H28	12.2	○	あり なし	○	まちなか観光拠点の形成(整備方針1)に向けて、空き店舗対策事業等(公益性施設の運営および商店街への出店者に対する家賃補助)を展開したことにより、空き店舗率の低減につながったと判断した。	なし	
指標3	まちづくりの活動の参加数(延べ人数)	人/年	600	H22	730	H28	836	○	あり なし	○	人の魅力があふれるまちづくりの展開(整備方針2)に向けて、各種イベントに対する経費補助や、空き店舗対策事業によるNPO方針やまちづくり会社の施設運営支援など、積極的な展開を図ったことにより、市民のまちづくりに対する機運が向上し、目標達成に至った。	なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	イベント来場者数	人/年	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
				9,300	H24			11,850				観光拠点の形成や魅力ある街並み形成(整備方針1、3)に向けて、各種イベントの企画、開催に対する経費の補助等、積極的な展開や、イベント開催会場となる道路等の回遊性や景観向上、空き店舗活用によりイベントや本地区の魅力が向上し、目標達成に至ったと判断した。	なし	
4) 定性的な効果発現状況														
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施なし	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
							都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	未広・港線道路デザイン会議					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 本会議を契機とし、魅力ある街並み景観整備を進めていく。			
							都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

